

大学等名

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 人 (非常勤) 人

② プログラムの授業を教えている教員数 人

③ プログラムの運営責任者
(責任者名) (役職名)

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

(責任者名) (役職名)

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

⑥ 体制の目的

⑦ 具体的な構成員

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和4年度実績	6%	令和5年度予定	13%	令和6年度予定	19%
令和7年度予定	26%	令和8年度予定	32%	収容定員(名)	5,596

具体的な計画

令和4年度と同じ履修者数であることを想定し、以下の計画とする。

令和4年度 履修者数359名, 履修率 $359/5596 \div 6\%$
 令和5年度 履修者数359名(履修者数合計718名), 履修率 $718/5596 \div 13\%$
 令和6年度 履修者数359名(履修者数合計1077名), 履修率 $1077/5596 \div 19\%$
 令和7年度 履修者数359名(履修者数合計1436名), 履修率 $1436/5596 \div 26\%$
 令和8年度 履修者数359名(履修者数合計1795名), 履修率 $1795/5596 \div 32\%$
 (※履修率は「履修者数合計/収容定員」として計算)

本プログラムの開設年度は令和4年度である(令和4年度入学生から)。そのため令和5年度以降は、履修者数の合計および履修率は増加すると見込まれる。
 なお、本教育プログラムの詳細についてはWebサイトや大学案内等に掲載して学生へ周知するとともに、関連科目等でのアナウンスを行う予定である。これにより履修者数・履修率の向上に向けた取り組みを行う。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

本教育プログラムを構成する科目である「データサイエンス入門」を複数コマ開講し、それらをメディア授業(ライブ配信+ビデオオンデマンド)で実施することにより、希望する学生全員が受講可能となるような体制を整えている。

令和5年度以降は、メディア授業に加えて、対面授業でも実施することにより、さらに履修しやすい体制を整える予定である。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

本教育プログラムを構成する科目である「データサイエンス入門」について、科目案内資料(チラシ)の配布や関連科目でのアナウンス等により、学生へ周知する取り組みを行っている。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

本教育プログラムを構成する科目である「データサイエンス入門」をメディア授業(ライブ配信+ビデオオンデマンド)で実施し、できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポートを行っている。

なお、ライブ配信授業も含め、すべての授業回についてオンデマンド配信用動画を準備することにより、後日でも講義動画の閲覧が可能な環境を整えている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

LMS, メール等のオンラインでの質問受付・サポートに加えて、教室等で対面での質問受付・サポートの体制を整えている。

授業時間外もオフィスアワーを設定し、対面での質問受付・サポート体制を整えている(オンラインでの質問については、授業時間外も必要に応じて対応する体制を整えている)。